

令和3年 秋の全国火災予防運動



期間：令和3年11月9日～15日

広島市消防局マスコットキャラクター
「もみみん」

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

令和3年は火災による死者が急増➡

令和3年の広島市消防局管内における火災による死者数は8月末現在で**12名**となっており、このうち8名が65歳以上の高齢者です。

令和2年の年間の火災による死者数は5名となっていますので、令和3年の死者数はすでに令和2年を大幅に超えている状況です。火災の被害を最小限にするため、次のポイントを参考にしてください。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

●4つの習慣

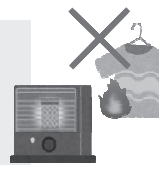
寝たばこは絶対にしない、させない



こんろを使うときは火のそばを離れない



ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く



○6つの対策

火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。



防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。



火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。



お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。



火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。

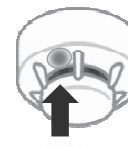


防災

火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。



点検方法は簡単
ボタンを押すか、
引っ張るだけ
何も反応がなければ電池切れや故障の可能性
があるよ



点検すると
正常です。
火事です！
ピーピーピー
など鳴ります。



屋外での火気の取扱いに注意！

これから空気が乾燥し、たき火などによる「屋外」での火災が発生しやすい季節となりますので、屋外での火気の取扱いには十分注意して下さい。

令和2年
たき火火災発生件数
26件



自主防災 ひろしま

自助

共助

公助

2021年 秋・冬
＜No.258＞

編集・発行
広島市危機管理室
082-504-2664

令和3年8月11日からの大雨によりお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆様へ心からお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様へ、心からお見舞い申し上げます。



▲令和3年8月11日からの大雨により被災した広島市西区田方の様子

被災された皆様へ

広島市では、被災された市民の皆様や被害を受けられた事業者の皆様へ支援制度を設けています。詳しくは市ホームページで支援策一覧をご確認いただき、記載の問い合わせ先にご相談ください。

- ・罹災証明書等に関すること
- ・ごみ等の処分に関すること
- ・宅地内の土砂等の処分に関すること
- ・土砂等を自費撤去された方への費用償還に関すること
- ・住宅の応急修理に関すること
- ・農地の災害復旧に関すること
- ・衛生相談に関すること
- ・見舞金の支給に関すること
- ・融資に関すること
- ・税金、納付金の減免、免除等に関すること など



▼ 支援策一覧（市HP）



ページ番号 239569

令和3年8月11日からの大雨に伴う災害ボランティア活動について

大雨により被災された方々への支援のため、被害の大きかった西区・安佐南区に災害ボランティアセンター、全体の調整役として広島市災害ボランティア本部を8月18日（水）に立ち上げ、地区社協・町内会等地域の方々、関係機関・団体、ボランティアの方々と共に、被災者への支援活動を行っています。

平成30年7月豪雨災害の時には延べ3万人を超える大勢のボランティアの協力を得て支援活動を行いました。今回は新型コロナウイルス感染拡大下での活動のため、コロナ感染を「持ち込まない」「持ち帰らない」「広げない」ことに十分配慮し、マスクの着用、手指消毒・手洗いの徹底、三密の回避、ボランティア募集範囲を広島市内在住者に限定する、募集人数を少人数にする等により、感染拡大防止に努めながら、被災者に寄り添った支援を実施しています。

■9月15日現在の活動状況

1 ニーズ数と完了数

区	ニーズ総数	完了数	残ニーズ数
西区	29件	28件	1件
安佐南区	19件	19件	0件

2 ボランティア活動件数・活動者数

区	延べ件数	延べ活動者数
西区	84件	770人
安佐南区	38件	595人

3 内容

土砂かき、家財の移動・清掃 など

お問い合わせ先：広島市社会福祉協議会 ボランティア情報センター ☎082-264-6408



災害ボランティア（土砂かき）の様子

水害碑を巡る防災体験学習を支援しています



「水害之碑」の説明を聞く様子



被災者の話を聞く様子

令和3年7月31日（土）、佐東公民館による「親子で学ぶ防災講座」が開催されました。市内の親子14名が参加しマイクロバスに乗って、マップ「水害碑が伝えるひろしまの記憶」を見ながら、安芸区矢野の水害碑を巡りました。安芸区矢野東の梅河団地では、平成30年7月豪雨の被災者の体験談を聞きました。

参加した大人は、「早めに避難することが命を救う。今日聞いたことを、子どもや孫に伝えたい」「非常持ち出し品を備えようと思った」などと振り返りました。子どもからは、「早く避難しようと思った」と、防災意識が高まった様子が見られました。

広島市では、次世代を担う子ども達に、防災をより身近なものと感じてもらうために、地域防災リーダーをアドバイザーとして派遣し、市内の水害碑をバスに乗って巡る防災体験学習を支援しています（写真右）。



お問い合わせ先：広島市危機管理室災害予防課 ☎082-504-2664

えんてい 砂防堰堤と早めの避難について



安佐南区相田7丁目の相田1号砂防堰堤及び遊砂地土砂及び流木の捕捉状況

令和3年8月11日からの大雨により、安佐南区相田、緑井、大町地区の国が整備した砂防堰堤の4箇所ですり崩れが発生しました。いずれの箇所も砂防堰堤により土砂を補足し、下流の住宅地への土砂流による被害は発生しませんでした。

現在、これら4箇所の砂防堰堤では、土砂等の撤去作業が鋭意実施されています。

砂防堰堤は、砂防堰堤上流で発生した土砂流を受け止め、土砂流による下流への被害を防止・軽減するための施設であり、現在、広島市内には100基を超える砂防堰堤が国土交通

省や広島県によって整備されていますが、砂防堰堤が整備されていても、土砂災害警戒区域にお住まいの方は、砂防堰堤の効果を過信せず、広島市が発令する避難情報に従って、早めの避難を心がけて下さい。

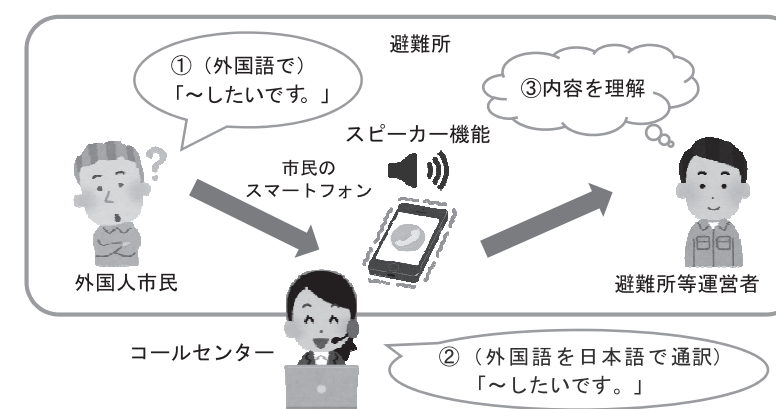
土砂等の撤去作業状況は国土交通省広島西部山系砂防事務所のHPでご覧になれます▶



避難所で通訳サービスを受けることができます

災害時に、日本語が十分理解できない外国人市民が安心して避難できるよう、避難所で24時間無料で利用できる電話通訳サービスを開始しました。英語、中国語、ベトナム語を含む20か国語に対応しています。

電話通訳サービスに加えて、災害通訳ボランティアの派遣も行っています。詳しくは、国際化推進課へお問い合わせください。



お問い合わせ先：広島市市民局国際化推進課 ☎082-247-0127

家族向け防災セミナーを見逃し配信しています

令和3年7月24日（土）に開催した令和3年度広島市防災セミナー「家族で備えてつよくなる！防災教室」を、市公式YouTubeで見逃し配信しています。どなたでもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。



▲市HP



ページ番号 230684